

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (H30)

法人名	有限会社吉野メディカル	代表者	小牧 文夫	法人・事業所の特徴	鹿児島市のほぼ中央に位置し、シティバスのルート上で史跡などが多く点在する地域に建てられている。住宅街の中にある複合型施設（コミュニティハウス上町）の2階に事業所が設けられ1階に認知症型デイサービス、3,4階に住宅型有料老人ホームがあり、それぞれに交流を持っている。
事業所名	多機能ホーム南洲の杜	管理者	宮崎 佳代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		人	人	4人	1人	1人	1人	1人	3人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・全体会等で事業所自己評価改善計画を皆で確認する機会を作り改善計画への取組みへつなげる。	・職員間で確認する機会を作れていなかった。改善計画の取組みとして動くことができなかった。		・毎月の全体会等で事業所自己評価の振り返りや出された意見を反映し再確認することで改善できていない点を中心に取り組む。 ・職員の事業所自己評価の学習会など早めに開始し理解を深める。

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内がどのような場かわかりやすいようにデイ・多機能だよりを入口、玄関付近に貼ってみる。 ・初めて来て下さった方も入りやすいよう 1 階入口の見やすい所に声掛けしやすいような言葉で簡単な看板を掲げる。 ・職員は来所された方への挨拶、丁寧な対応を心掛け、電話対応も印象の良い対応をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 階の看板など設置され少し雰囲気 が和らいでいると感じるが事業所内の 雰囲気は入口であまり感じられていな いと思う、工夫することが出来なかつ た。 ・年 1 回全体会にて接遇や電話対応の 勉強会を行い、学び、実際面会者など には笑顔で挨拶を行い、対話しやすい 環境を整えることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック項目の表現が分かりにくい。 ・入口の看板や建物の広報ができてい る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備を心掛ける。気付いた所は 可能な範囲、その時に掃除するように する。 ・家族や地域の方に気軽に参加できる 行事サロンを企画する。随時見学や介 護相談ができる施設であることを PR する。 ・清潔な環境作りに努め、好印象のも てる挨拶や対応をしていく。
<p>C. 事業所と地域の かかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動は回覧板だけでなくご近所 へのポスティングも実施する。介護相 談は日程を決め周知⇒実施していく。 ・現在関わりがある方とは今まで以上 に交流を図り、他に新しい交流の場を 少しでも増やしていく。秋祭りは継続 していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護相談は来客の方に行くことはで きたが、日程を決めて周知することま ではできなかった。 ・秋祭りの実施今までの地域の方との 関わりは続いていると思うが新しい交 流の場を作っていくことができていな い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ相談に行っても良いかわからな い。具体的な日時などを決めて周知し てもらおうと利用しやすいのでは？ ・色々な施設が増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事（文化祭や運動会等）に参 加し地域の方々と触れ合う機会をも つ。 ・介護相談や認知症についての勉強会 など定期的に外部の方に来苑して頂け るようなイベントを企画し、地域の方 達が気兼ねなく来苑していただけるよ うな開かれた施設を目指す。
<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人を中心とした地域環境を知りそ の中で事業所をより知って頂くよう努 め、地域資源の発掘につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人を中心とした地域環境の把握が あまりできず、地域資源の発掘までは 行うことができなかった。 ・地域環境を知る事を取り組めていな かった。 ・新しい地域資源の発掘はできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に「介護をどうすればい い？」との質問をよく受けるが 「介護を 1 人では背負わず相談できる 人を見つけたり、施設を利用した方が 良い」と話している。みんなどこに相 談すればいいのか、わからない方が多 い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源にどのようなものがある か日頃から目を向けるようにする。 ・地域資源についての勉強会を実施し、 職員 1 人 1 人地域資源についての理解 を深める。

		<ul style="list-style-type: none"> ・こちらが情報を集められる上で地域の方の事を本人などに聞く事はできるが具体的に地域資源を活用するための働きかけにつながらなかった。 ・地域の方と交流を増やす事、ホームを身近に知って頂ける様利用者と一緒に関わる行動など行なっているが地域資源の発言にはつながっていない。 		
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた職員のみでの参加だけでなく自ら意欲的に参加出来る様に業務体制を整える。会議で出された意見を業務に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加は限られた職員のみでの参加であったが、会議内容は議事録に残されており、周知されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の介護職員の参加がないのは人員の関係、人員不足が関係しているのでは？どの求人を見ても介護職は必ず募集しているのを見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた職員のみでの参加だけでなく、多くの職員が出席できるように業務体制を整える。
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板などを活用して事業所の防火訓練に参加していただけるように働きかける。 ・最低年1回の災害対応についての勉強会を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防火訓練参加への参加を周囲に働きかけを行うことができている。災害対応の研修を行うことができている。 ・災害対応についての勉強会を実施。自施設での具体的な想定をして勉強もできれば良かったと感じる。 ・備蓄（水や保存食）はできているが、災害時の非常持ち出しリュックなどの備品の検討も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区全体の地震想定防災訓練に参加できていた（11月実施） ・継続した取り組みが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対応についての勉強会を継続し知識を深めていく。 ・地域での防災訓練などにも積極的に参加する。